

第01回

- 講演者：藤井 俊 氏（慶應義塾大学理工学部）
 - 題目 On Iwasawa invariants of (\mathbb{Z}/p) -extensions of an imaginary quadratic field
 - 日時：平成23年5月13日（金）16：30～17：30

p を素数, \mathbb{Z}/p を p 進整数環とする. 代数体の \mathbb{Z}/p 拡大に対して岩澤 λ , μ 不変量が定まり, λ , μ がどのような値をとるか, という問題は岩澤理論において基本的なものである. p を奇素数, k を虚二次体とする. 本講演で述べたい結果は,

1. s を k の p 上の素点の個数とする. k の円分 \mathbb{Z}/p 拡大の λ が s であれば, 反円分 \mathbb{Z}/p と独立で, p 上の素点がすべて分岐する \mathbb{Z}/p 拡大に対して, λ は s 以下であり, μ は 0 である.
2. p は k で分解するとし, 円分 \mathbb{Z}/p 拡大の λ は 2 とする. さらに, k の Hilbert p 類体は \mathbb{Z}/p^2 拡大 L に含まれ, p 上の素点の $\mathrm{Gal}(L/k)$ 内での分解群の指数は p とする. このとき任意の \mathbb{Z}/p 拡大の μ は 0 である.

である. この結果は1991年にSandsによって得られていた結果の, 虚二次体 k の類数が p で割れる場合への類似となっている.



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

12 images

From:
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2011/001>

Last update: **2017/11/17 01:12**

